



和泉 現場パート 和泉センター パートリーダー

さかい けいこ
坂井 桂子

2017年、和泉センターのパート社員として株式会社物研に入社した坂井桂子。会社の一員となってから、坂井はどのような道を歩んできたのだろうか。現在務めているパートリーダーの仕事に対する考えや、プライベートでの素顔に迫る。

自ら手を挙げて

手先の器用さを生かして10年以上内職の仕事をしてきた坂井は、子どもの成長に伴い外で働こうと考え、プライベートでフラワーを作る会社でパートタイマーとして働きはじめた。しかし、その工場が閉鎖となってしまい、次なる職場として出会ったのが物研だったのだ。物流業界は全くの未経験ながら、「身体を動かして働くのもいいな」と、前向きな思いで入社を決意を固めたのである。

和泉センターの立ち上げメンバーの一人となった坂井は、採用が決まった時点で、「少しでも早く仕事に慣れたいから」と和泉センターの業務がスタートする前から本社での勤務を希望するなど、勤勉な姿勢を見せてきた。

入社直後はアパレル製品の検品や梱包を中心に担当し、現在では冷凍品、冷蔵品に関わる仕事も行っている。

膨大な物量の中で

これまでで一番印象深いのは、入社直後から携わっていた、とあるアパレルメーカーの仕事だ。スタート時は取り立てるほどの物量ではなかったが、そのメーカーの急成長に伴い、入出荷量も爆発的に伸びていった。どれだけこなしても中々減らないアイテム数を前に、総勢40人ほどのパート社員一丸で臨み、一日の作業を終えた時には大きな充足感に包まれたという。一方で、うまく物量を捌き切れなかった時には、「心がつぶれそうになった」と語るほど追い込まれ、今でも苦い経験として脳裏に刻まれている。

現在、そのアパレルメーカーは事業撤退し、和泉センターでの取り扱いはなくなっている。それでも、当時の経験や仲間と連帯した記憶は今の業務に生かされており、今日も坂井は目の前の仕事に真摯に取り組んでいるのだ。



▲慎重に作業中

変化と失策

大きな苦労があったアパレルメーカーの案件がなくなって以降、和泉センターは取り扱う品目も、共に働く仲間にも変化があった。新しい顧客が次々と増えたほか、職場を去った人がいる一方で新たに加わる人も多くいた。変わりゆく業務の中で、自身が今でも忘れられないのは、とある一つのミスだ。

それはある商品の出荷を担当した時のことだ。正しい数量を伝えられていたにもかかわらず、坂井は10個ほど過剰に出荷。その結果、周囲に迷惑をかけてしまったのである。作業の正確性には自信があるだけに、このミスに対

しては大きなショックを受け、申し訳なきでいっばいに。その後自身の行動を振り返り、深く反省をした坂井は、さらに気を引き締め直し、以降は商品名や数量のチェックを人念に行っている。

休暇も誰かのために

休日は、平日に対応が追いつかない家事に精を出している。その胸の内にあるのは、「家族が喜んでくれるなら嬉しい」との前向きな気持ちだ。中でも、布団や洗濯物を干すことがリフレッシュになっている。



▲同僚とランチ

持ち前の器用さは、趣味の手芸にも生かされている。自身の子どもが小さかった頃は、ピアノやダンスの発表会で身につける衣装を自作し、今では孫のスタイ(よだれかけ)を作るまでに。女の子の孫が生まれれば、「可愛い洋服を作りたい」と今からやる気に満ちている。

長年の内職経験や前の職場での花作り、そして趣味の裁縫など、「手先を使う作業は得意」と語る坂井。物流センターでのコツコツと取り組む作業も苦痛に感じたことはないという、仕事もプライベートも明るく行動する毎日を送っている。

目標に向かって歩みを進める

パートリーダーとして周囲から高い評価を受けている坂井だが、「先頭に立ってリーダーシップを発揮するようなタイプではない」と自己評価は控えめだ。一方で、「真面目にコツコツと作業する部分は負けないと思う」と、得意分野で仲間を支えていきたいと考えている。周囲を引っ張るのではなく、支えることが自身の目指すリーダー像

なのだ。

あらゆる局面でコツコツと努力を続けてきた坂井。その献身的なサポートは、物研にとっても、和泉センターで共に働く仲間にとっても、なくてはならない大きな力となっているに違いない。



▲綿密なコミュニケーション

\\次号もお楽しみに!!

次号予告 vol.32

Interview 歌谷 美佐子さん

Contents

渾身の趣味語り
青春ソング★

MyWork

～ある一日に潜入～

今回密着したのは、深阪センターのリーダーを務める大津さんと、和泉センターの副センター長を務める太田さん。お二人のお客様ファーストの活躍ぶりに密着しました！

リーダー
おおつとしお
大津俊夫さん

深阪センター



業務内容

現場のコントローラーとして

倉庫中の商品在庫管理や出荷・入荷作業に従事しています。出荷・入荷に関しては主にパートさんに実作業を行ってもらっていますが、皆さんがいかに進めやすくて作業を指示を出すのが私の役割です。お客様からいただいた情報をもとに、滞りなく準備していかねばなりません。

また、在庫管理においてはミスゼロを目指して取り組んでいますが、なかなか思ったようにはいきません。当部署のクリアすべき課題として挙げられるでしょう。そして、お客様からのクレームゼロが目標のひとつ。誤出荷・誤入荷を防ぐために、現場の作業環境づくりの改善にも注力しています。



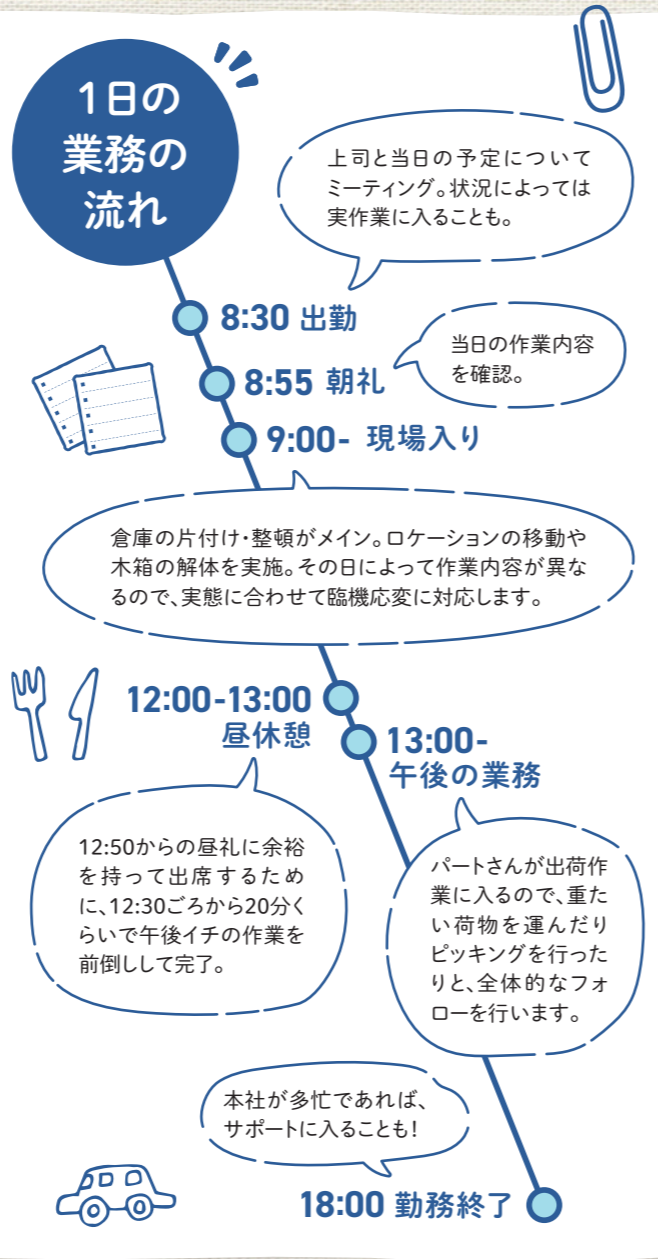
集中！

業務を円滑に進めるための工夫

業務をスムーズに進めるためには、現場に置いている荷物を圧縮して整理することが必須です。しかし、今の時期は入荷量が多く、整理整頓が追いついていない部分があります。荷物がそこら中に溢れていたら入出荷の判断が難しくなり、ミスが発生する原因にもなるので、都度荷物を仕分け、可能

状況を判断しやすい環境構築と情報共有

な限りわかりやすくきれいな環境維持を心がけています。パートさんとのコミュニケーションも忘れてはいけない重要な要素です。お互いにやるべきことを失念してしまうことがあるので、常に現場状況を確認しあいながら、作業精度を高めています。



副センター長
おおた ちかこ
太田智香子さん

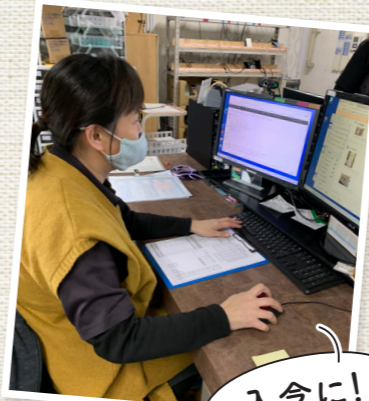
和泉センター



業務内容

円滑に業務を行うためのキーマン

フロント担当として、お客様からのオーダーの受付、問い合わせ対応、送り状の発行など、ピッキング作業を行う前段階までの準備を行っています。出勤後、現場担当者へ当日のスケジュール報告を行い、連携を取ることで円滑に業務が行えるよう心がけています。



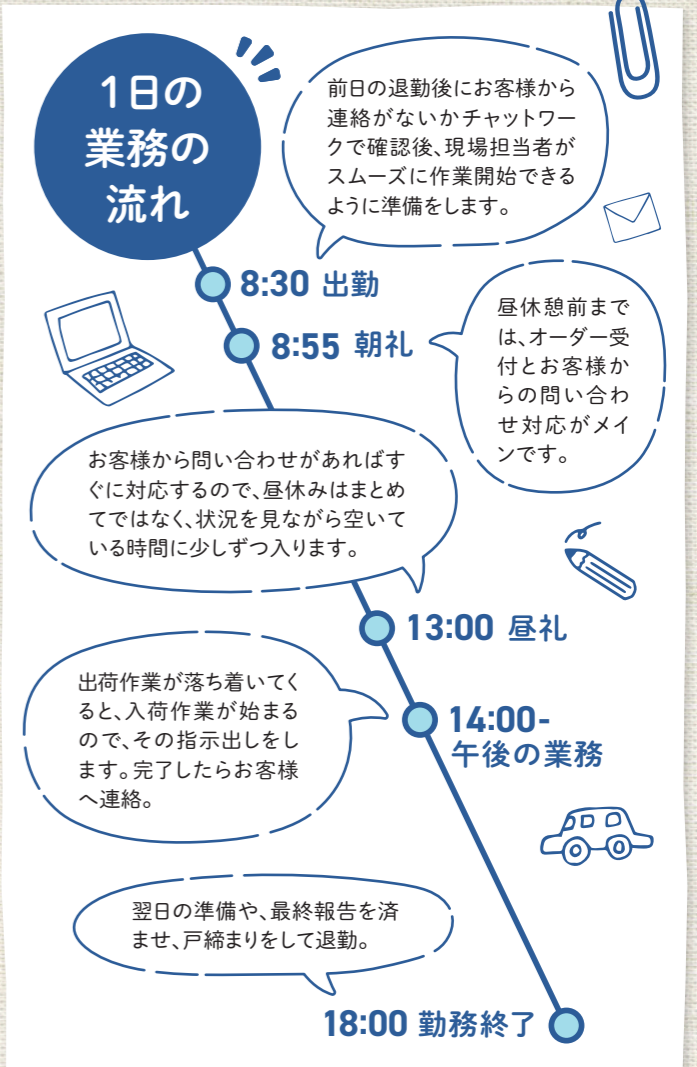
入念に！

仕事のやりがいと喜び

ありがとうの言葉

様々なお客様がいらっしゃり、それぞれ出荷方法やオーダーの仕組みが違うので、すべて覚え、深く理解をしていないと、イレギュラーな事態が起きた際に対応できません。その

ため、知識量をどんどん増やしていかなければいけないので、大変だと思うこともあります。ですが、お客様から感謝の言葉をいただけるのは嬉しく思います。私だけでなく、現場担当へ向けられた言葉でもあるので、とても大切にしています。



Happy Birthday!!

うお座生まれの皆さん、おめでとうございます！

うお座生まれ

藤井 愛さん	林 小百合さん	隅野 麻衣さん
戸崎 佳奈さん	山本 直輝さん	縄手 めぐみさん
西田 祐日さん	馬場 優子さん	歌谷 美佐子さん
		黒本 晴香さん